

建産連ニュース

社団法人 埼玉県建設産業団体連合会

'08/10

No. 118



錦秋の長瀬

建産連の SLOGAN
活動指標

- 一、建設産業の果すべき社会的使命の重要性を自覚し、この事業を通じて県民福祉の増進に寄与する。
- 一、建設産業全体が連帯協調し、建設産業の社会的地位の向上に努める。
- 一、建設産業の経営体質の改善を図り、労働生産性の向上に努める。
- 一、総合工事業と専門工事業間の新しいパートナーシップを確立し、企業活動の活性化を図る。
- 一、建設産業の職場環境の改善と作業の安全を図るとともに、建設産業従事者の福祉向上に努める。

建産連ニュース・目次

表紙写真説明

錦秋の長瀬

蛇行する緩急の流れ、河川の浸食によってできた岩畳や溪流の造形を楽しむことができる長瀬ライン下り。親鼻橋～岩畳、岩畳～高砂橋までの全長約6kmを運行。船頭の竿さばきを存分に堪能できる。(社団法人埼玉県観光連盟提供)

◆ 巻 頭 言	埼玉県測量設計業協会	2
◆ 行政情報		
1.	建築基準法改正後の動向と県の取り組みについて	3
	民間建築物に対する耐震改修補助制度について	6
2.	川の国埼玉魅力100選について	8
3.	砂防ボランティア協会の活動状況について	14
◆ 連合会の動き		
1.	全国府県建産連会長会議	18
2.	建設業経営講習会を開催	19
3.	CCI埼玉 平成20年度総会	19
4.	建設産業構造改善推進協議会 平成20年度総会	20
5.	公明党県議団と意見交換	21
6.	自民党埼玉県連幹部と意見交換	21
7.	理事会・委員会報告	23
◆ 連 載	愛すべき土木の人たち(その12)	
	—市川正三—	25
◆ 告知板		
1.	全国府県建産連会長会議の提出議題について	30
2.	「埼玉県NPO基金」への寄付依頼について	31
◆ 建産連だより		
	会員団体の動き	32
◆ 連合会日誌		34
	(財)建設物価調査会案内広告(22P掲載)	

巻頭言



小山 進

測量設計業務にも総合評価方式の導入を

昨年、奈良県明日香村にある高松塚古墳の調査において、石室床面の周囲から、床石の上面を平らにするための「水準器」に使用したと見られる柱の穴が9カ所発見された。水を張った容器で水平を調べ、それをもとに両側の柱に糸を張って水平を確認してから作業をしたと考えられる。これは、水と糸を使って水平を測量する技術が確立していたことを示す最古の例だといわれている。

このように古来から使用されていた測量機械も昨今では、デジカメ付地上型レーザー・スキャナなどという目を見張るものまでも登場している。本体から水平角、鉛直角を変えながら、レーザーパルスを発射し、これを対象物の表面で反射形状を三次元座標を持つ集まりとして取得するもので、これにより、短期間に広い視野内の地形地物などの詳細な三次元座標が取得できる上に、デジタルカメラを備えたことにより、位置情報に画像というもうひとつの情報を付加されるという画期的なものである。

しかしながら、いかに技術が高度化されても、これを受け実施に移すのが、測量技術者である以上、常に新しい技術や高度な技術を研鑽習得している優秀な技術者によって実施されなければ、その真価を発揮することはできない。「最も価値の高いもの」、いわゆるベストバリューを追求し、それに基づく技術こそ、最良の技術であり、培われた高度な技術も映えることとなる。

平成17年に品確法が施行され、請負工事については実施されてきたものの、測量等委託業務については、今後の検討課題とされた。調査設計等委託業務の成果の良否は、後に来る請負工事に大きく影響を及ぼすものであることから、請負工事に総合評価方式が導入された現在、測量等の委託業務にも総合評価方式を導入することは、請負工事の品質を確保する上からも必要不可欠なものであり、理にかなったものといえる。

早期に実施されることを切に望むところであります。

また、当協会としては、本年度から厚生労働省の「人材確保推進事業」の認定を受け、その助成金のもと、会員各社の職場環境の改善を図るとともに、優秀な技術者の確保並びに職員の技術向上に取り組んでいくこととした。

優秀な技術者のもと、最新の測量機器や高度な測量技術により実施された測量こそ、社会福祉に貢献する真の高度測量技術である。

(社) 埼玉県測量設計業協会会長

建築基準法改正後の動向と県の取り組みについて

埼玉県 都市整備部 建築指導課

【はじめに】

平成19年6月20日に、改正建築基準法が施行されました。構造計算書偽装事件を契機に、こうした問題を防止し建築物の安全性に対する国民の信頼を回復することを目的として建築確認の厳格化を図りましたが、国の関係省令等の公布の遅れや周知不足などにより、建築確認が停滞し建設業界を初めとして大混乱が生じました。

改正後、国や県の様々な円滑化の取り組みの結果、建築確認件数や住宅着工件数では、ほぼ正常化していると考えております。

今回は建築基準法の改正後の動きを追い、併せて県の取り組みなどについてもご紹介いたします。

【県内の建築確認件数及び住宅着工戸数などの推移】

図1は県内の建築確認件数の推移です。改正法施行後、平成19年7月には前年同月比で40%を超える大幅な減少となり、その後2、3ヶ月も2桁の減少が続いたため、大混乱が生じ建設業界を初めとして景気にも大きな影響を与えました。しかしながら秋頃には木造2階建て住宅が概ね回復いたしまして、年明けにはその他の建築物も回復したため、今年の4月には前年同月比で初めてプラスに転じています。

図1 埼玉県内の建築確認件数の推移

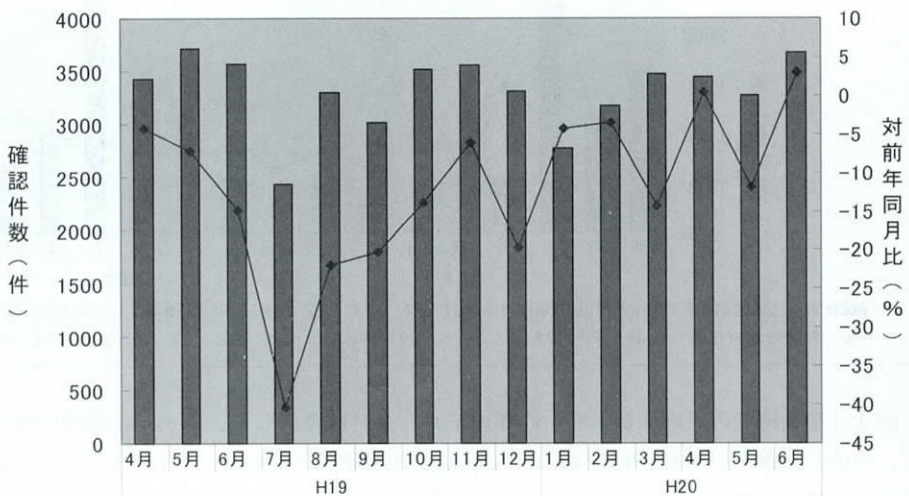


図2は県内の住宅着工戸数の推移です。この図も若干のタイムラグがあるものの、建築確認の推移と同様の傾向を示しています。

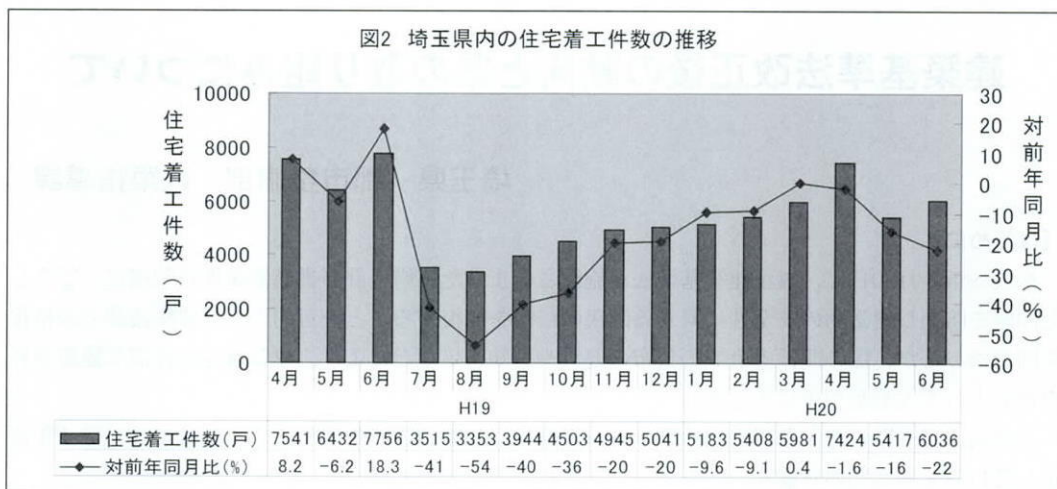


図3は一定の高さ以上であることにより指定構造計算適合性判定機関（以後「適判機関」と言う。）の審査対象となることが多いマンションの着工戸数の推移です。マンションについては、適判機関での大幅な停滞により大きな影響を受け昨年の9月には前年同月比で約96%の大幅なマイナスになりましたが、年明けから回復の傾向が見えてまいりまして、今年の4月には前年同月比で初めてプラスに転じています。

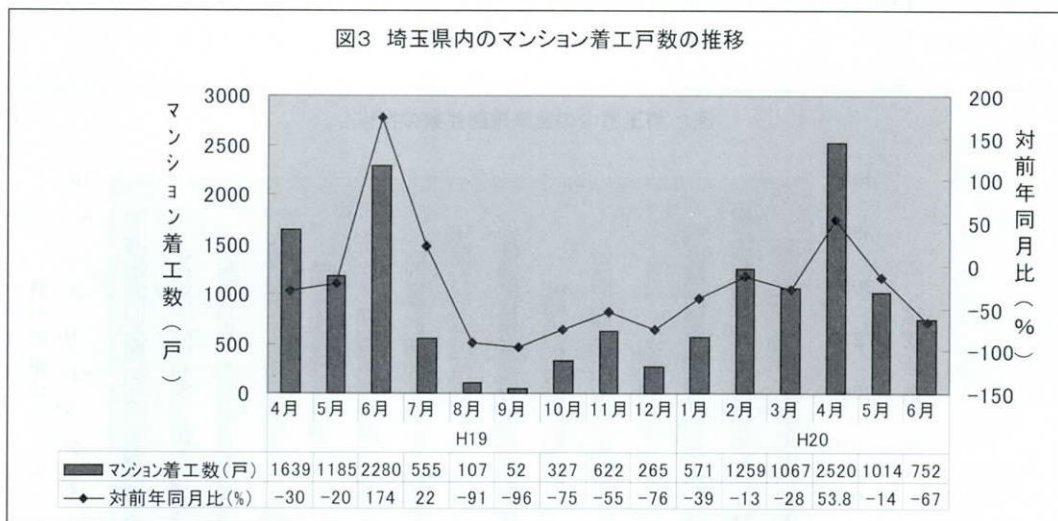
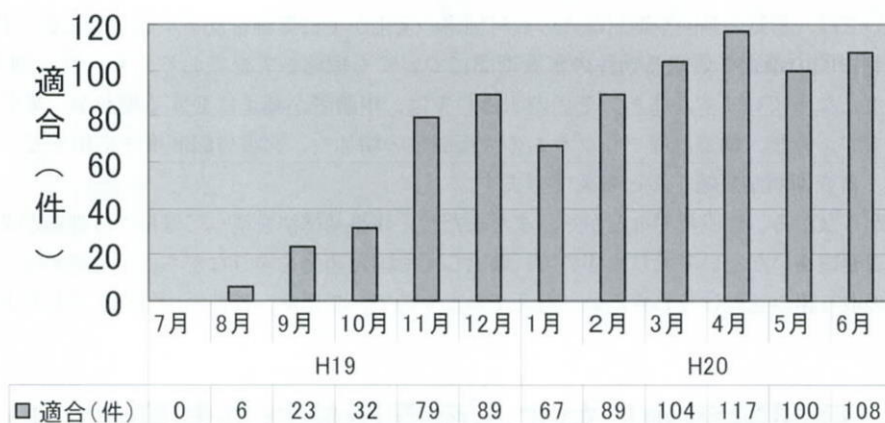


図4は適判機関の処理件数です。昨年の7月、8月は停滞して、ほとんど処理できませんでした。秋頃から徐々に件数が伸び始め、今年の3月以降は月に100件を越す処理をしており、ほぼ落ち着いてきています。

図4 埼玉県内の構造計算適合性判定処理件数



【県の取り組み】

これまで、県が取り組んできた主なもの、また現在も続いている施策について紹介します。

◇関係団体と連携した説明会、講習会の開催

- ・延べで約40回に渡り、改正建築基準法の内容等を周知しました。

◇指定構造計算適合性判定機関を12機関指定（H19年5月）

- ・適判機関での混雑停滞を避けるため全国的に見ても多数の機関を指定しています。

◇改正建築基準法に関する相談窓口を設置（H19年10月）

◇木造2階建て住宅のモデル確認申請（埼玉県版）の作成・公開（H19年10月）

- ・（財）建築行政情報センターで公開されているモデルを参考にして埼玉県版の申請書及び添付図書の記載例を作成し公開しています。

◇埼玉県建築確認円滑化対策連絡協議会の設置（H19年12月）

- ・建築関係団体、指定確認検査機関、指定構造計算適合性判定機関、特定行政庁をメンバーとした協議会を設置し意見交換を行っています。

◇建築確認の混雑状況を県ホームページで公表

- ・県内の各審査機関の建築確認の混雑状況が一目でわかるように県のホームページに掲載しています。

◇事前審査の実施期間の再延長（H20年3月）

- ・建築確認の円滑化を図るため、従来どおり補正や差し替えを認める事前審査制度を建築関係団体の要望を踏まえて再延長し、H21年6月19日（改正法施行後2年）までとしています。

【現状と今後の見通し】

図1～図4を参考に前述したとおり、国や県における建築確認の円滑化を促す様々な取り組みの結果、建築確認の件数や住宅着工戸数については、ほぼ正常化したと考えています。今後の件数の変化については、景気の動向や鋼材などの資材価格の変化が主に影響を及ぼすことになると思います。

適判機関の審査を要する物件の審査期間についても短縮してきており、サンプル調査の結果100日程度になっています。また、その内訳としては、申請者が補正に要する期間が、半分以上を占めています。今後、構造計算プログラムの大臣認定の増加や、図書省略制度を活用することによって、更に、審査期間が短縮すると考えています。

しかしながら、建設業界などから、まだまだ改正建築基準法を巡っては様々な課題があるとのご意見・ご要望をいただいておりますので、県としても国と連携を図りながら、手を緩めることなく、円滑化の取り組みを続けていきたいと考えていますので、ご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。

民間建築物に対する耐震改修補助制度について

【はじめに】

昨年の新潟県中越沖地震、今年の岩手・宮城内陸地震、岩手県沿岸北部を震源とする地震など、大きな被害をもたらす地震が頻発しており、大地震はいつどこで発生してもおかしくない状況にあります。

建築物の倒壊による被害を最小限に抑えるため、埼玉県では平成19年3月に「埼玉県建築物耐震改修促進計画」を策定し、計画的に建築物の耐震化を進めることとしています。

この計画を着実に進めるため、県では平成19年8月に、民間の病院、学校などの多数の方が利用する建築物の耐震診断・耐震改修に係る補助制度を創設しました。

今年度は、幼稚園・保育園の規模、階数要件の引き下げなど、建築物の補助対象要件の見直しを行い、より使いやすい制度としました。

この制度は、全国的に見ても先進的な補助制度で、多くの民間事業者の方に活用していただきたいと考えています。

【補助制度の概要】

民間の病院、学校などの一定規模以上の多数の者が利用する建築物の耐震化に係る費用の一部を補助します。(所管行政庁10市の区域を除く)

	耐震診断	耐震改修設計	耐震改修工事	
補助率	2/3	2/3	一般建築物	15.2%
			避難施設等	2/3
補助 限度額	300万円/棟	一般建築物	1,300万円/棟 (設計+工事)	
		避難施設等	4,400万円/棟 (設計+工事)	

※所管行政庁10市：さいたま市、川口市、川越市、所沢市、越谷市、上尾市、草加市、春日部市、狭山市及び新座市

※避難施設等：地域防災計画で指定された避難所等

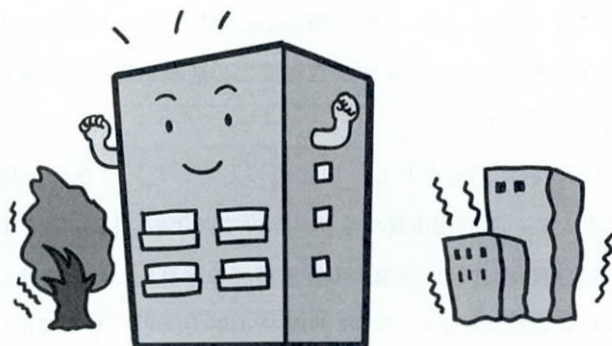
【今年度の制度拡充について】

拡充項目	現行内容	改正内容
耐震改修工事に対する補助率の引き上げ	15.2%	一般建築物 15.2% 避難施設等 2/3
耐震改修設計、耐震改修工事の補助限度額の引き上げ	1,000万円	一般建築物 1,300万円 避難施設等 4,400万円
対象建築物要件の緩和 (用途別に階数及び床面積を緩和)	病院、百貨店、劇場、学校等で1,000㎡以上かつ階数が3以上	体育館（一般公共の用に供されるもの） 1,000㎡以上かつ階数1以上
		幼稚園、保育所 500㎡以上かつ階数2以上
		小中学校、養護学校、老人福祉施設等 1,000㎡かつ階数2以上
		病院、百貨店、マーケット、飲食店、劇場、事務所、ホテル、賃貸共同住宅等 1,000㎡以上かつ階数が3以上
手続きの簡素化	交付申請前→事業計画書作成 事業着手時→着工届提出	事業計画書及び着工届の提出不要

_____は今年度新たに追加された部分

【予算額等】

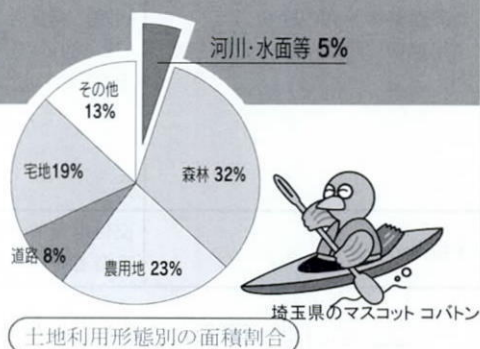
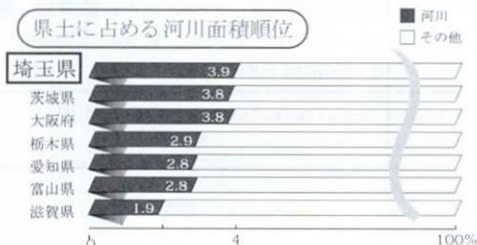
- (1) 平成20年度予算額 166,872千円
- (2) 耐震診断・改修の予定棟数 耐震診断 22棟
耐震改修 10棟（設計+工事）



川の国埼玉魅力100選について

埼玉県 県土整備部 河川砂防課

埼玉は川の国



埼玉県は県土に占める河川や湖沼などの水辺の割合が5.0%で全国4位 河川だけなら3.9%で日本一です。

この「日本一の川」という資産を活かし、川の浄化や水辺の創造などにより川を再生し、ゆとりと潤いのあるふるさとをつくる「川の国づくり」を進めています。

平成20年度からは「川の国 埼玉」の実現に向けて、清流の復活や安らぎとにぎわいの空間創出を目指す水辺再生事業に着手しました。整備箇所は元荒川、芝川、藤右衛門川、柳瀬川、東京葛西用水を含め県内26箇所を対象としています。さらにこの活動を推進し、概ね4年間で合計100箇所程度の水辺再生を目指しています。

また、今の川の魅力を皆様にお知らせし、川に親しんでいただくため「川の国埼玉 魅力100選」冊子を作成することとし、平成19年夏から秋にかけて県民の皆様から魅力公募を行いました。そして、延べ400箇所（重複箇所含む）を超える推薦箇所の応募をいただきました。

この中から、県民の皆様のご投票により、県内100箇所の魅力スポットを選定しました。

今回は、その一部を紹介させていただきます。



みどりと川・再生宣言！
シンボルマークを作成しました。

冊子の配布について

現在、各県土整備事務所・総合治水事務所・河川砂防課において配布しております。

また、郵送も行っております。詳しくは河川砂防課HPを御覧ください。

HPアドレス：

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A08/BG00/miryoku100/kawanokunisaitamakekka.html#lnk1>

(問い合わせ先 電話048-830-5162 河川砂防課 計画調査担当)

県中央部編

黒谷落 さいたま市 尾ヶ崎新田



推薦者コメント

この川、小さな川です。田植えの頃関川を閉め田に水を入れると、水面が湖畔のようになります。

四季を通してカワセミが飛来するここは、岩槻区尾ヶ崎新田綾瀬川から枝別れした小さな川です。

芝川 さいたま市 見沼区



推薦者コメント

発展・活力という都市の魅力と、水と緑に恵まれた田園の魅力を併せ持つという埼玉県を象徴している風景です。

芝川 川口市青木・鳩ヶ谷市緑町



推薦者コメント

清流ルネッサンスⅡやテレビ朝日「素敵な宇宙船地球号」などで地域住民が一体となって水質浄化に取り組んでいます。

入間川 飯能市 吾妻大橋



推薦者コメント

吾妻峡は飯能市の市街地南部から上流の名栗川の俗称で、美しいV字峡がさらに上流まで続いています。とりわけ吾妻大橋からの眺めは一幅の絵のようです。

槻川 嵐山町 槻川橋上流



推薦者コメント

京都の嵐山風景に最も似ているといわれています。

八丁湖 吉見町 大字黒谷



推薦者コメント

八丁湖は、県立比企丘陵自然公園に指定され、豊かな自然を有し、県指定の「ふるさと歩道」により、自然とふれあう散策道となっています。桜や紅葉の時期になると、豊かな湖面を美しい景色に変えて、訪れる人々の心を和ませます。

川の国埼玉魅力 100 選

県東部編

綾瀬川 草加市 草加松並木



推薦者コメント

遠く東京湾に流れる綾瀬川と草加松並木。春夏秋冬いずれの季節も風情があります。落ち葉を踏みしめる秋には、陽射しがやわらかいです。昔が忍ばれる場所。昭和30年初期の頃は、大八車で往来していたなんて想像できますか？

葛西用水 越谷市 市民会館前



推薦者コメント

瓦曽根堰で堰上げられた農業用水路。広大な水面でリクリエーション。遊歩道を歩いて疲れたらパーゴラでひと休み。

元荒川 蓮田市 宮前橋上流



推薦者コメント

花見でにぎわう春と違い、紅葉の桜並木には訪れる人もすくなく、その美しい姿を川面に映すばかりです。蓮田の元荒川は一年を通して、私たちの心をやすめ、元気を与えてくれる、よい川ですので、ゴミを無くし水質ももう少し良くしたいと願っています。

県北部・秩父編

秋山川 本庄市 秋山



推薦者コメント

十二天会館わきの調節地は、湖面に紅葉の木々が写りとても美しいです。

中津川 秩父市 中津川



推薦者コメント

約10kmにわたり、中津峡の紅葉の美しさを堪能できます。見頃は10月下旬から11月中旬。中津峡のほかにも大滝では紅葉の名所があり、三峯神社周辺では、毎年恒例の「奥秩父大滝紅葉まつり」も開催されます。

横瀬川 横瀬町 道の駅あしがくぼの前



推薦者コメント

西武線芦ヶ久保駅、道の駅と、首都圏の観光客が集う場所に、清流が流れています。春には二子山のうぐいすの声と川のせせらぎ、柳の揺れる音に、ハイキングにきた観光客の笑い声が交じります。水辺でゆったりとくつろぎながら、山里の新鮮な空気を胸一杯に吸い込めば、子どもに返って、川遊びでもしたくなるどころ。

ボランティア協会の活動状況について

彩の国砂防ボランティア協会（SSVA）

【設立】

当協会は、次の設立趣意をもって、平成10年6月15日に設立されました。

<設立趣意書>

先の阪神・淡路大震災では、神戸市を中心に、がけ崩れや地すべりが発生し、多数の死傷者を出す大災害となった。

この時、様々な分野でボランティア活動が大規模かつ継続的に行われ、砂防の分野においても、全国から官民を問わず砂防関係技術者が災害地を訪れ、土砂災害危険箇所の調査を行い、異常のチェックや危険度判定など行い、その結果関係機関に連絡し、二次災害防止に大きな役割を果たしたところである。

これを契機として災害時のボランティアの必要性が叫ばれ、なかでも砂防ボランティアの組織作りが全国的に進められている。

本県では、幸いにも土砂災害の発生は少ないが、土砂災害防止対策は、着実に進められている。しかしながら、大規模な地震や大雨により、想定規模を遙かに超える土砂災害の発生も考えられることから、未整備箇所はもとより、対策済みの箇所についても十分な点検が必要であると考えられる。

そこで、本県においても砂防ボランティアが活動できる体制を早急に整備する必要があり、「彩の国砂防ボランティア協会」を設立することにした。

本会は、土砂災害防止に関して、砂防ボランティアが円滑に活動できるよう支援するとともに、もって県民の福祉の増進に寄与しようとするものである。

【現状】

現在、竹入会長以下、役員22名、会員総数108名（平成20年度通常総会時点）により、活動をしています。

また、本会の主旨に賛同していただける方の入会を、随時募集しております。

【活動】

一年間を通じて、主に次の活動をしています。

- 砂防ボランティア全国連絡協議会への参加
- 役員会の開催
- 通常総会の開催
- 砂防ボランティア全国のつどいへの参加
- 研修会の開催
- 斜面判定士講習会の開催
- テーマに基づく活動

主な活動履歴

年 度	事 項
平成10年度	協会の設立
平成15年度	土砂災害危険箇所の居住者に対する啓発活動（初年度）
平成16年度	土砂災害危険箇所の居住者に対する啓発活動（2年目）
平成17年度	土砂災害危険箇所の居住者に対する啓発活動（最終年度）
平成18年度	せせらぎ広場のふれあいとクリーンアップ
平成19年度	砂防施設の安全点検とふれあい清掃活動（初年度）
平成20年度 （予定）	・ 砂防施設の安全点検とふれあい清掃活動（2年目） ・ 砂防先進地の視察（日光砂防他） ・ 県内研修会・講習会の開催



通常総会風景

【テーマに基づく活動の内容】

テーマを決定し、次の活動を実施しています。

○平成15年度～17年度の活動

テーマ：土砂災害危険箇所の居住者に対する啓発活動

場 所：平成15年度：飯能市など3市町163箇所

平成16年度：秩父市など7市町村129箇所

平成17年度：長瀨町など5市町65箇所

内 容：アンケート調査及び啓発活動等

(3年間で約1,700戸へ訪問)

●主なアンケートの内容

- ・土砂災害に対する関心度
- ・土砂災害危険箇所の認識度
- ・防災情報の入手方法
- ・土砂災害に関して知りたい情報
- ・土砂災害対策に求めるもの
- ・土砂災害時における避難の判断方法

●主な啓発活動の内容

- ・急傾斜地の定義、ポケットティッシュ、クリアファイル等の配布
- ・自分の所だけは絶対大丈夫と考えず、万が一の時を想定して、注意して欲しい等の意識喚起
- ・最近の経済状況や建設投資に対する考えなどから、ハード対策の工事は思うように進まない現状であるため、自分の身は自分で守ることが先決である等の意識喚起

○平成18年度の活動

テーマ：せせらぎ広場のふれあいとクリーンアップ

日 時：平成18年12月18日

場 所：①譲原地すべり（視察）

②金鑽川（清掃）

内 容：①先進地の視察による、砂防に関する知識の向上

②砂防河川の清掃

○平成19年度の活動

テーマ：砂防施設の安全点検とふれあい清掃活動

日 時：①平成19年11月8日

②平成19年11月9日

場 所：①東松山県土整備事務所管内

(慈光寺川、桃木川、西浦川)

②秩父県土整備事務所管内

(蒔田川)

③熊谷県土整備事務所管内

(釜伏川、関山川)

内 容：砂防施設の安全性や機能の維持や保全を図るため、点検、及び施設周辺の清掃・雑草除去

○平成20年度の活動

平成19年度と同様に「砂防施設の安全点検とふれあい清掃活動」を実施予定



連合会の動き

全国府県建産連会長会議 品確法遵守徹底など 要望8項目を決議

平成20年度の全国府県建設産業団体連合会
会長会議が10月2日、秋田市の秋田ビューホ
テルにおいて開催され、当建産連から関根会
長と田中常務理事が出席した。

冒頭、開催県を代表して秋田県建設産業団
体連合会の菅原三郎会長が、「建設産業は崩
壊の瀬戸際。存亡の危機に直面している。今
こそ一丸となり、実効ある活動をしていかな
ければならない」とあいさつ。続いて田村会
長が挨拶に立ち、麻生新内閣の話題に触れる
とともに、「低価格でしか受注できない。こ
れが一番大きな問題だ。地方によっては公共
工事を受注するほど赤字が膨らむ。総合評価
制度を的確に執行し、90%前後で落札でき
るような仕組みづくりをお願いしたい。また、
不良不適格業者の取り締まりを的確にしてく
らいたい」と述べた。

来賓祝辞では、小澤敬市・国交省建設流通
政策審議官が、「適切な利益が出るような環
境づくりやあるべき姿を追求していきたい」、
関克己・国交省大臣官房技術審議官が、「調
査基準価格の引き上げ、設計変更などの課題
に積極的に取り組んでいく」と述べ、建設産
業界に対しさらなる協力を求めた。

続いて、全国建産連会長表彰の授与式を行
い、本県から次の2名が表彰された。

◎塩川通正理事

(埼玉建築士会副会長)

◎清水澄弘理事

(埼玉県建設業健康保険組合理事長)

議事に入り、各府県建産連から提案議題の

説明が行われ、それに対し国交省の各担当者
から回答を得る一問一答の形式で意見交換が
進められた。

埼玉県は、ダンピング対策と、分離分割発
注の推進および単品スライド条項適用の拡大
についての2項目を提案した。

主な要望としては、「工事現場の片務性の
是正」に対し、「21年度はワンデーレスポ
ンスを全工事で、3者会議は3000件を目標に
進めるほか、設計変更についてスムーズに対応
できるようなシステムを検討中。地方公共団
体に対し、モデル的な導入支援を検討してい
る」と回答した。

議事終了後には、地方公共団体における総
合評価方式の早期導入拡大措置、中小建設業
者の受注機会の確保、元請下請取引の適正化
など8項目にわたる決議文が読み上げられ、
満場一致で採択、この決議文をもとに11月以
降に、自民党や国交省など各関係機関に対す
る要望活動が行われることになった。



あいさつする田村会長

要望事項

- ①「公共工事の品質確保の促進に関する法
律」に基づき、同方針の遵守徹底を図ら
れたい。特に地方公共団体における総合
評価方式の早期導入拡大に必要な措置を
講じられたい。また、落札率が90%台に
なるようさらなる配慮をお願いしたい。
- ②公共事業にウエイトをおいた平成20年度

補正予算の編成と、本年度を上回る21年度予算の確保。併せて、地域中小・中堅建設産業を再生させるための、緊急避難的な予算創設を図りたい。

- ③道路特定財源は、国民の安心・安全確保のための社会資本整備と、既存資本の維持・管理を行える最低限の事業予算確保を図りたい。
- ④不良不適格業者の価格破壊的ダンピング受注により、専門工事業者などへしわ寄せされ、労働賃金の低下などに極めて不幸な事態を招いている。また、現行の公共事業労務費調査方法では、技能労働者の設計労務単価が下げ止まらないため、その決定方法を改善されたい。
- ⑤官公需法を堅持されたい。
- ⑥分離・分割発注の一層の推進、発注標準の見直しと喰い上がりの弾力化などにより、地域経済社会を支える中小建設業者の受注機会を十分確保されたい。
- ⑦ダンピングの排除のため、予定価格の事前公表の廃止など必要な措置を講じられたい。また、「老舗企業」が不良不適格業者によって淘汰されているため、営業年数や地域貢献度などをさらに重く評価する制度を創設されたい。
- ⑧元請下請取引の適正化のため、発注者は施工体制台帳を整備、不当なしわ寄せを被ることのないよう元請業者を指導されたい。

「建設生産システム合理化指針」に基づく諸施策と、「建設産業政策2007」における建設生産システム合理化推進協議会の拡充など、なお一層の徹底を図られたい。

前払金の適正化についてもなお一層の徹底を図られたい。

第2回建設業経営講習会 独禁法と公共工事を学ぶ

当建産連は7月23日午後2時から、埼玉県建設業協会、東日本建設業保証埼玉支店との共催により、平成20年度第2回目の建設業経営講習会をさくらめいと熊谷創造館月のホールで開催、会員企業の経営者・経営幹部・営業担当者など約40名が受講した。

同日は、「独占禁止法と公共工事」をテーマに、丸市綜合法律事務所の二宮照興氏が約2時間にわたって講演した。

二宮講師は、「改正独禁法施行以来多くの事件が起こっており、入札談合に独禁法がどのように適用されるか、改めて知っておく必要がある。このため独禁法の違法行為捉え方を、刑法の談合罪と比較しながら、ペナルティーの内容に触れたい」とし、①公共工事と独禁法②独禁法における違法行為③刑法の談合罪④独禁法違反の効果（排除措置、刑事罰、指名停止など）—について、最近の摘発事例を交えながら解説を行った。



講演する二宮講師

CCI埼玉 平成20年度総会開催 事業の継続・中止を事務局一任へ

埼玉県魅力ある建設事業推進協議会（CCI埼玉・会長 古郡一成）は9月19日午前10

時より、さいたま共済会館で平成20年度の総会を開き、19年度事業・決算報告を行うとともに、新年度の事業計画を決めた。

当建産連からは有山広報委員長が出席した。

冒頭のあいさつの中で古郡会長は、「公共投資の減少、入札制度改革などにより我々を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、公共事業に携わる者は事業縮小、転業、廃業、民事再生などの選択肢しかなく、自分で死ぬこともできないような状況に追い込まれている。利益が確保でき、誇りを持って仕事ができるよう健全な発展に向けてご尽力をお願いしたい」と述べ、出席した行政、学校、業界関係者に対し理解・協力を求めた。



議事では、平成19年度事業報告・決算と平成20年度事業計画(案)・予算(案)の4議案について事務局から説明を行い、いずれも原案通り承認された。

議事終了後、会長と副会長から「年々減少する事業予算や社会情勢の変化を受け、当協議会の活動を本年度で中止したい」との問題提起があり、継続するか否かについて意見交換を行った結果結論に至らなかったため、事務局一任とすることで了承された。

建設産業構造改善推進協議会 平成20年度総会開く

埼玉県建設産業構造改善推進協議会(会

長・永田喜雄県土整備部長)は9月19日午前10時30分より、さいたま共済会館で平成20年度の総会を開き、19年度の事業報告を行うとともに、平成20年度の事業計画を決めた。

当建産連からは関根会長をはじめ、古郡副会長、佐野副会長、有山副会長、藤原副会長、田中常務理事が出席した。

開会に先立ち永田会長が、「公共投資額の大幅な減少により、建設産業界は大きな転換期を迎えており、関係機関と連携を取りながら改善に向けた取り組みを推進していく必要がある。県民に信頼され、活力と魅力ある産業として健全な発展を図るため、当協の果たす役割は大きく、事業が効率的に推進されることに期待する」とあいさつした後、永田会長を議長に議事に入った。



事業報告として、まず、県が埼玉県の建設産業構造改善のための主な取り組みについて説明した後、埼玉県建設業協会、当建産連からも順次説明を行い、特に異議なく承認された。

平成20年度事業計画では、「建設業の経営改善」をテーマにセミナーを、県内2会場で10~11月に開催することが報告され、これについても異論なく承認された。

最後に、構造改善の取り組みを巡り意見交換が行われたが、建設産業界からは特に「協会加盟企業に対する支援策」が強く求められ、これに対し県側からは「一步一步着実に推進していく」考えが示された。

公明党議員団と意見交換

ダンピング対策など 2項目を要望

当建産連は9月3日午前11時から、埼玉県議会公明党議員団に対し①ダンピング対策について②分離分割発注の推進および単品スライド条項適用の拡大について—の2項目を要望、意見交換を行った。当日は、関根会長、有山副会長、高橋副会長が出席した。

意見交換のスタートにあたり山本・議員団長から、「県政、国政に反映できるよう忌憚のない意見を伺い、政治の中で生かしていきたい」とあいさつがあり、これに対し当建産連の関根会長が、「現在、土木業界では談合事件を、建築業界ではマンションデベロッパ一倒産による県内業者への影響という問題を抱えている。加えて、需給バランスの崩れからさらに競争激化が予測され、金融機関の対応も変化してきている」と述べ、現状の打開に協力を求めた。



高橋副会長がダンピング対策について、「最低制限価格制度はダンピング防止策として効果的だが、低入札価格調査制度では調査基準価格を下回った場合でも、調査結果によっては契約可能であり不十分。発注者に負担を強いる低入札価格調査制度は即刻廃止し、最低制限価格制度に一本化するべき。設計、測量、調査業務についても最低制限価格制度を採用していただくか、入札によらない発注方

式「プルボーザル方式、略コンベ方式など」の採用が図られるようお願いしたい」と提案説明を行った。

続いて有山副会長が、分離分割発注の推進および単品スライド条項適用の拡大について、「市場の確保、受注機会の拡大が最大の課題となっており、分離分割発注などにより公共工事受注の機会を与えていただくことが必要不可欠。一層の分離分割発注の推進と、地元専門企業への発注をお願いしたい。また、原油価格の高騰を受け、電線ケーブル類や石油2次製品である管材類なども急激な品薄、価格上昇をしており、単品スライド条項適用対象について広範に判断していただき、適用の拡大をお願いしたい」と提案説明を行った。

これに対し公明党からは、「現状について良く理解できた。伺った要望については精一杯努力していく」との回答が得られた。

自民党埼玉県連幹部と 意見交換

9月12日、建産連会館会長室に自由民主党埼玉県連の野本陽一県議、奥ノ木信夫県議、樋口邦利県議が来訪し、当産連の関根会長、藤原副会長、須永専務理事、田中常務理事、埼玉県建設業協会の島田副会長、真下副会長と意見交換を行った。



会議の冒頭、関根会長から、さる6月27日

に開催された埼玉県議会「中小企業・農林業を支援する」議員連盟（会長：野本陽一県議）の役員会において、業界側から要望した①基幹産業としての県内建設業の活性化について②ダンピング対策、不調不落対策についての2項目を直ちに議会側として取り上げ、県当局に働きかけていただいたことに謝意を表すとともに、不動産・マンション不況に苦しむ建築業界、談合疑惑に揺れる土木業界の厳しい現実を訴え、政治面での強力な後押しに理解を求めた。

これに対し、野本県議からは、「業界の厳しい現状は理解しており、新年度格付方針の

取りまとめにあたって、「子育て支援」、「エコアップ」、「防災への取り組み」などの社会的要請項目を重視した主観点数の割合の引き上げを県当局に求めているほか、単品スライド条項の適用拡大や、総合評価方式の運用も現実に即して改正するよう要望している」との状況報告がなされた後、各般にわたる意見交換を行った。

また、9月21日に締め切られる自民党総裁選予備選挙では埼玉県議団として、麻生太郎衆院議員を推薦することにしたのでご協力をお願いしたいとの要請があり、団体としての推薦状を手渡して意見交換会を終了した。

月刊「建設物価」をインターネットで!

Web建設物価

<http://www.web-kensetu-bukka.com>

検索機能で使いやすさUP!

フリーワード検索や分類検索など多彩な方法で探せる! 月刊「建設物価」の目次にも対応。

収録データ大幅UP!

月刊「建設物価」に未収録の資材・工種・地区を追加。資材・工種の解説等、詳細情報も追加。

その他にも便利な機能満載!

平成20年度版

■B5判/定価9,030円(税込)

国土交通省土木工事積算基準

- <標準歩掛>5工種の改正
 - 軟弱地盤処理工
 - 場所打杭工
 - 地すべり防止工
 - 鋼矢板工
 - 道路打換工
- <積算基準>
 - 共通仮設費率が改正されました

改訂11版

■B5判/定価3,675円(税込)

諸経費率早見表

- 諸経費率を工種ごと、金額階層ごとに計算。

▼出版物・講習会情報・建設資材関連情報等を提供中

<http://www.kensetu-navi.com/>

月刊 建設物価

B5判/定価3,799円(税込)

■年間購読料/37,200円(税込・送料サービス)

季刊 土木コスト情報

B5判/定価3,400円(税込)
春(4月)夏(7月)秋(10月)冬(1月)発行

■年間購読料/12,000円(税込・送料サービス)

季刊 建築コスト情報

B5判/定価4,600円(税込)
春(4月)夏(7月)秋(10月)冬(1月)発行

■年間購読料/15,800円(税込・送料サービス)

お申し込み・お問い合わせは下記まで。

— 発行 —

財団法人 建設物価調査会

— 申し込み —

株式会社 建設物価サービス

TEL 03(3663)8761(代) FAX 03(3663)1397

委員 理事会報告

全国建産連会長会議提出議題と 団体政策要望などを協議

第1回総務委員会

平成20年度第1回目の総務委員会が7月24日正午から、埼玉建産連会館特別会議室で開催され、国および県に対する要望事項と全国建産連会長表彰候補者について協議が行われた。

冒頭、古郡委員長が「当委員会は、組織、機構、財務、関係法令、行政機関に対する建議などを担当することになっており、委員の皆様との協力のもとで、円滑な運営に心掛けてまいりたい。本日は、国や県に対する要望事項や全国建産連会長表彰候補者などをご審議いただくが、活発な議論により実り多い会議となるよう期待している」とあいさつ、委員紹介の後、古郡委員長を議長に協議に入った。

【議 題】

国および県に対する要望事項について

全国府県建産連会長会議の提出議題については、①ダンピング対策について②分離分割発注の推進および単品スライド条項適用の拡大について—の2件（告知板の頁に別掲）を当建産連の提出議題とすることを諮り、承認された。

また、自民党県議団に提出する埼玉県に対する要望事項については、国への要望事項をアレンジして提出することで了承された。

全国建産連会長表彰候補者について

表彰規程に則り、平成20年度推薦者として、塩川通正理事（埼玉建築士会 副会長）、清水澄弘理事（埼玉県建設業健康保険組合 理

事長）、の2氏が挙げられ、決定した。

その他

6月27日に、埼玉県議会「中小企業・農林業を支援する」議員連盟に対し要望した①基幹産業としての建設業の活性化②ダンピング対策、不調不落対策について事務局より報告、これを踏まえ中小議連が知事あてに要望した内容について説明を行った。この中で、CO²削減への取り組みが社会貢献の評価項目としてクローズアップされたことから、「エコアップ認証制度」の研修会開催について研修指導委員会で検討することを申し合わせた。



第117号編集とポスター・絵画 コンクール募集について協議 広報委員会

7月23日正午から、建産連会館特別議室で広報委員会が開催され、建産連ニュースの発行と絵画ポスターコンクールについて協議を行った。

議 題

「建産連ニュース」第117号の発行について

このほど発行された7月号について、事務局から記事の掲載順に要点を説明、特に意見なく了承された。

「建産連ニュース」第118号の編集案について

10月に発行する第118号の編集案について、編集担当から趣旨説明を受け、特に意見なくこれを了承した。

「埼玉の建設産業」ポスター・絵画コンクールについて

事務局より第30回「埼玉の建設産業」ポスター・絵画コンクール作品募集について、6月20日付けで県内の小・中学校長あてに依頼文を発送した旨を報告。

今後のスケジュールとしては、10月1日に応募を締切、10初旬に2名の先生による審査を行った後、10月22日開催の広報委員会で承認を得ることなどが確認された。

その他

次回委員会開催日を10月22日とすることを決めて閉会した。



“土木の原点は造園屋さんだった”

そうそうたるメンバーの集まり

現在、県土整備部長をされている永田喜雄さんから、昨年（平成19年）の暮れに「井沢弥惣兵衛」の話しを頼まれたのですが、あのにこにこ顔にはたとえいやであっても断れません。

東京農大の造園学科OBの方々だけならともかく、大学の偉い教授まで参加されるとのこと。発端は見沼の大古里（おぶさと）公民館で、中村泰明（元副知事）さんに頼まれて、やはり、とても断るなんて、恐れ多くて出来ない経緯がありまして、弥惣兵衛さんの話をいたしましたが、この近くにお住まいの永田さんが、野次馬がてら来られたのであります。永田さんのお父さんは生粋の見沼の住人で見沼代用水組合員でありますので、私から見ますれば、弥惣兵衛さんについては本場の人なので、わざわざ、聞きに来なくてもよろしいのであります。

こうして、断れない変な連鎖のため恥を忍んで、会場たる大宮のホテルに参りましたが、参加者の中に、大先輩の外園さん、造園業協会の伊藤正博さんや塙庸

夫さん、そのほかにも、須賀さんや林眞郎さんの顔が見え、公務員現役時からお世話になった方々がたくさんおられました、これだけのそうそうたるメンバーの前ですと、緊張してしまいます。加えて、小林学科長さんなど大学の偉い先生方が最前列に座っておられるのでなおさらのことです。今回は、この時の話しを中心に紹介したいと思います。

誇り高き近江衆の庭師

井沢弥惣兵衛さんについては、以前紹介したことがありますので、省略させていただきますが、造園を学んだ関係者の集まりということで、色々調べてみますと、驚いたことに“**土木の原点は造園にあり**”らしいのです。すなわち、「**庭師**」と言われる人達で、京都の庭園造りを行っていた「**近江衆**」が、土木に関する色々な技術を駆使しております。

この近江衆で有名なのは、何といても、仙頭御所や桂離宮など多くの名庭を造った**小堀遠州**であります。

小堀遠州は「東洋のレオナルド・ダビンチ」と言われるほど多才な人ですが、もともとダビンチは、秩父にも関係の深い**平賀源内**とばかり思っておりましたので、意外な感じを持ちました。しかし、



永田県整備部長

遠州は「鉄
鉱石の採
掘」や「鉄
の精錬」な
ど、鉱山関
係の仕事で
も、大きな
役割を果た
しておりま
す。



東洋のレオナルド・ダ・ヴィンチ
小堀遠州（自画像）

当時は、金や銀よりも、武器製造には
なくてはならぬ鉄の採掘が何より大事で
あったのです。

武田信玄を支えた**穴山梅雪**を中心と
する**金山衆**（かなやましゅう）も金を
掘り出す技術を持っておりましたが、当
時の戦国武将の常として、皆、鉄の調達
に躍起となっておりますので、この
金山衆もどちらかという、鉄の採掘
に高度な技術をもち、加えて、信玄堤な
ど、土木工事にも堪能な集団であったよ
うです。

この「**近江衆**」や「**金山衆**」もルー
ツを探ると、どうも、鉄の精錬などの
技術を持った「**庭師**」の影がちらほら
と、見え隠れするのであります。いわゆ
る、地形、地質についての豊富な知識と
経験をもっており、石垣も含めて、築城
技術もきわめて優れていた「**穴入衆**
（あのをしゅう）」の存在です。この
「穴入衆」が大阪城などに代表される名
城のほとんどに関わっているといわれて
おります。

大阪城巨石の謎

ここで、大阪城の話しになりますが、
200トンもの、それも四国の石が積まれ
ております。

この大きな石を整形し、どうやって、

運搬し、積み上げたのか？現在なら、ク
レーンなど重機械がありますが、当時は、
こんなに重量のある物を吊り上げるもの
などないのであります。

エジプトのピラミッドも巨石を積み上
げたのですが、これよりはるかに重く、
大きな石です。

種明かしをいたしますと、こんなに大
きな石を動かせるのは、「**庭師**」しかお
りません。彼らが手がけた京都の名庭に
は、各地の巨大な名石が見事に組み込ま
れて、しかも、優雅に作庭されております。
もともと、そこに存在した巨石では
なく、運び込まれた石が多いのであります。

では、「庭師」はどうやって、巨石を
運び込んだのでしょうか？ここで、弥惣
兵衛さんの**通船堀**を思い出してください。
パナマ運河より180年も前に造られ
た閘門式の運河のことです。

これは、2門の閘門を開け閉めしなが
ら、水位を上げ下げする装置で、見沼代
用水と芝川の落差3メートルをものとも
せず大きな船が行き来できるのであり
ます。

この仕組みは、弥惣兵衛さんの工夫の
ように言われておりますが、どうも、大
阪城の巨石や京都の名庭もこの仕組みが
使われていたようなのです。**築城術も
作庭術も門外不出の秘伝**であったこと
から記録が残されておられません、「庭
師」の間では、水路の利用による巨石の
運搬は常識であったようなのであります。

京都の庭園を色々に見学しながら歩い
たことがあります。巨石を運び入れた
庭園には、必ず、水路と池がありまして、
そう言う目で見ますと、巨石を運び入れ
たルートまでが見えてきます。水が登場
しない「**枯山水**」でも、巨石を運び入
れた水路の跡らしきものが必ずあります。

名庭園にはさりげなく池やそこに水を取り入れる水路がありますが、これは、庭の石組みの際にはなくてはならぬものだったのであります。**土木技術の目**でこれらの庭園を観察いたしますと、庭師のはかりしれない技術の凄さが実感されます。オーバーに言えば、日本人の素晴らしさに感動したりしてしまいます。

戦国武将を支えた庭師

ここで、秀吉の天下取りを考えてみますと、稲葉山城の攻略や高松城の水攻めなど、武力では戦っていないのであります。川並衆の活躍や長浜衆（近江衆）の存在が水面下にあって、はは一んと肯けるものがあるんですね、こういう技術集団の使い方が実に巧みなんです。加藤清正も、築城の名人といわれておりますが、出自を調べてみますと、近江衆で、庭師との関係が深いようです。

有名な小田原城攻めも、この城を見下ろす高台に城と見まごうばかりの陣地をあっという間に構築し、戦意を喪失させたようですが、これなど、庭師をベースとした土木建築集団の仕業であります。

話は変わって、武田信玄も**もぐら衆**の鉾山技術や作庭技術を駆使しての城攻めも、直接の武力を使わず、間接攻めであります。

「水を治めるもの天下を治める」

これは戦国時代の武将と治水との関係をあらわした言葉ですが、当時の給料はお米であったことから、米の取れ高に影響を与える洪水などの対策がしっかり出来る武将の能力が勢力の盛衰に直結したのであります。やはり、ここでも、水の扱いの得意な庭師の存在が重要であっ

たのです。

日本一といわれた武田土木を支えた穴山梅雪の金山衆、秀吉を支えた長浜衆（近江衆）や穴入衆、徳川家康を支えた、利根川の東遷事業を行った関東流武田土木の伊奈熊蔵（後の伊奈忠次備前守）、伊奈忠治など庭師の流れをくむといわれる河川技術者の活躍が天下取りにおおいに影響を与えたものと思われま

情報合戦、鉄砲の伝来；忍者の活躍



忍者も庭師？

戦国時代の諜報活動については、いわゆる、忍者の活躍があげられますが、甲賀も近江にあり、敵方の屋敷に忍び込む技術が優れている忍者の本場であります。これなども、建物の構造や庭の仕組みを熟知しているものでないと出来ません。こうしてみると、將軍吉宗の組織した**「お庭番」**なども言い得て妙であります。

庭の維持管理と情報収集の忍びは出自が同じ所にあるからです。いわゆる、当時の技術の源をたどってまいりますと、どうも、庭師に行き着くんですね、これらの技術集団が食うか食われるかの戦国時代の花形であったようです。

当時の最先端の武器**「鉄砲」**も鉄なくしては作れなかったようですし、これらの情報もいち早く入手して実用化したあげくに、あちこちの戦国大名に売りつ

けたりしてるんです。根来衆や雑賀衆など近江の近くにあり、鉄を取り扱う技術が優れていることから、どうも庭師の匂いがぷんぷんいたします。ちなみに、井沢弥惣兵衛さんのお父さんも根来衆の水利家であります。

大阪城の石垣構築の仕組み

ここで、大阪城の巨石に戻りますが、まず、四国の産地の石切場で加工は行われたようですが、積み出し港までは海の方が低いので丸太のころなど使い運搬したと思われませんが、船に積み込む方法は大変なので運んできた台座の筏ごと海に浮かべ、船で曳航したものと思われま。こうして淀川沿いに大阪城の現場近くまでは何とか運ぶことが出来そうですが、巨石の積んである場所は相当高い所にあります。

実は、この大阪城の石積み現場に運び上げるのが困難なのですが、ここで、弥惣兵衛さんの通船堀を思い出してください。現場までの水路を作り閘門を2基作ればよいのです。

公務で大阪に出張した折、大阪府の史跡担当の方にこの考え方を述べますと、「そういえば、大阪城構築の様子は周囲からは見えなかったと伝えられておりますが、単に秘密保持のためと思ったんですがねえ。淀川にもそんな痕跡がありますね、周囲に土手をつくり水を張れば、現場までの水路を使って運び込めば良いんですからねえ、高さは土手をどんどん上げていけばよいし、そう考えていくと、外堀や内堀なども石垣を積むには必要だったんですね、石垣の高さに水面があれば、丁張りもいらぬし、それに合わせて積んでいけばよいのですからね」と、いたく感心してくれました、また、そう

言う視点で研究してくださるとの話をしていただいたのですが、それは、未だに返事がございません。

この石垣を積んだとされる穴入衆にとって、朝飯前の仕事であったのかも知れませんが、重量のある巨石の扱いは、庭師が長年積み上げた作庭技術の賜なのであります。

穴山梅雪とりまきの金山衆

話が変わって、名君会津藩主の保科正之を育てた見性院は武田信玄の娘で、さいたま市緑区にある清泰寺にお墓がありますが、前にも話したことがあります、どうも龍神伝説の主はこの方ではないかと思われるのであります。見沼代用水の渡辺一郎理事長は見性院龍神説を唱えておられますが、まさに、見性院をとりまく技術集団、すなわち、武田土木の本流に行く人達が通船堀のある八丁堤のそばに住んでおりまして、さしもの弥惣兵衛さんが名にしおう見沼の軟弱地盤にてこずっていた時に、娘の姿となって、地山に沿って蛇のようにくねくねと水路をつくるようアイデアを出した龍神伝説が残っておりますが、伝説とはうまいものを考えたもので、これなら、弥惣兵衛さんのメンツも立つし、角がたたないのであります。しかも、この地域の特性を知りぬいている金山衆の末裔も自分たちの所有する田に水が来なくなつては困りますので、目立たぬやり方で、施行法を提案したのだと思います。

この見性院は家康の相談相手になっていたようで、それにまつわる話を紹介いたしますと、

お転婆で、気が強く、頭の良い娘を見て、信玄が

「おまえが男だったらなあ」と、ため息

をついたということですが、この話を家康にしたところ、

「そうであれば、とくに武田の天下になってたろうに、よかった、よかった。」と、これを聞いた見性院も

「まあ、ざれごとを」と、あきれたようですが、取り巻きの三河以来の幕閣は、冗談ではなく、皆ホッとしたとのことです。自分の家臣団に加えた武田の遺臣達を慰撫するため、また、伊賀越えて、自分の身代わりになった**穴山梅雪**の妻ということで大切にしたのかと思っておりましたが、この話からすると、見性院自身の器量は凄かったのではないかと考えられます。



穴山梅雪
金山衆頭領

夫の穴山梅雪にまつわるものがあるはずと、さいたま市の東農園の岡村さんにお聞きしたところ、八幡様（9月15日例祭）が奉つてあるとのこと、喜び勇んで案内してもらいましたが、やっぱりあつ

たと言う感じで、拝ませてくださいました。それどころか、岡村家で鬼門の方向にあたる場所に祀ったとのことで、見性院も夫がそばに祀られていて良かったなあと思いました。東農園の岡村さんもさいたま市の部長をされていた岡村さんも東京農大のOBでありましたが、この近くには有泉康夫さんを筆頭に岡村さんや篠原さんなど、金山衆の流れをくむらしい人達が住んでおられて、当然ながら、それぞれ名門であります。

今後、この穴山梅雪の妻見性院と共にやってきた人達のルーツを探り、金山衆の土木技術について岡村さんと共に検証したいと考えております。あ！そうそう、岡村さんは埼玉県を代表する造園屋さんで、まさしく誇り高い**庭師**の本流を継承しておられます。



東農園
岡村藤美氏



告知板

全国府県建産連会長会議 提出議題

ダンピング対策について

(提案理由)

ダンピングは、建設産業の経営はもとより、工事品質、安全対策、労働条件確保などに重大な支障をきたすとともに、建設産業界全体の疲弊や地域活力低下の要因となるもので、徹底して排除すべきものであります。

このような折、国土交通省直轄工事では、本年4月、低入札価格調査基準価格の見直しを実施されたところですが、業種によっては従来の基準価格を下回ることになるケースも想定されることから、いかなる業種においても適正な利潤が得られるように制度運用を図っていただきたい。

また、現行の入札制度では、最低制限価格制度と低入札価格調査制度のいずれかが採用されるダブルスタンダードとなっています。最低制限価格制度はダンピング防止策として効果的ですが、低入札価格調査制度では調査基準価格を下回った場合でも、調査結果によっては契約することが可能であり、ダンピング防止策として不十分であります。さらに、発注者が低価格調査を行うために要する膨大な時間と経費は全て貴重な税金で賄われるものであり、行政の効率性や税負担の公平性の観点からも問題であります。このように発注者に負担を強いる低入札価格調査制度は即刻廃止し、最低制限価格制度に一本化するべきであります。

建設工事の設計、測量、調査業務につきましても、ダンピングによる業務品質信頼性の低下が大きな問題となっています。委託業務はその大半が人件費によって構成されており、低価格による受注は直接労務単価の圧縮につ

ながりますので、最低制限価格制度を採用していただくか、もしくは、より良い設計者選定のために、入札によらない発注方式「プロポーザル方式、略コンペ方式等」の採用が図られるよう、地方公共団体に対して強く働きかけていただくようお願いいたします。

分離分割発注の推進及び単品スライド条項適用の拡大について

(提案理由)

地方の中小建設産業は、地域の基幹産業として、また、災害復旧の際の担い手として、地域の経済社会を支える大きな役割を受けてきました。

しかし、公共事業を始めとする建設投資の激減、受注競争の激化などにより、不況産業と揶揄されるほどの厳しい経営環境下におかれています。

各企業は、徹底したコスト削減を行うなど懸命な自助努力に取り組んでいますが、市場の確保、及び受注機会の拡大が最大の課題となっており、分離分割発注等により公共工事受注の機会を与えていただくことが必要不可欠であります。

国におかれましては、これまでも地方への配慮をされてこられたところですが、この厳しい現状をご理解いただき、一層の分離分割発注の推進と、大規模工事における地元業者を含めた共同企業体の積極的な採用、及び地元専門企業への発注をお願いいたします。

また、原油価格の高騰を受け、鋼材類と燃料油について単品スライド条項の適用が図られることになりましたが、鋼材を主な原材料とする電線ケーブル類や石油2次製品である管材類なども急激な品薄、価格上昇をしており、専門企業の経営を圧迫していますので、単品スライド条項適用対象について広範に判断していただき、適用の拡大をお願いいたします。

地方自治体に対しましても、これらの点について強くご指導いただくようお願いいたします。

皆様の身近で活動しているNPOを応援するために

「埼玉県NPO基金」への寄附をお願いします

「NPO」とは、保健・医療・福祉やまちづくり、環境保全など、様々な地域の課題に対して自発的に取り組み、継続して社会貢献活動を行う営利を目的としない民間団体で、埼玉県内に約1,200法人あります。

「埼玉県NPO基金」は、NPOの活動を支援し、行政との協働を推進するために、平成16年4月に創設した基金で、県の拠出金と皆様からの寄附により成り立っています。

埼玉県は、身近な団体を希望して寄附できる「団体希望寄附金制度」などをご用意し、寄附者の意向を大切にしながら、「日本一のNPOが活動できる県づくり」を目指しています。

この機会にぜひ、寄附を通じての社会貢献活動をご検討ください。

◆制度の仕組み



★税法上の優遇措置があります！

法人

全額が損金算入されます。

個人

所得税、個人住民税で寄附金額が控除されます（限度額あり）。

相続した財産を申告期限内に寄附すると相続税の課税価格に算入されません。

★感謝状、協力証を贈呈します！

個人で10万円、団体で50万円以上の寄附をいただくと、知事から感謝状を贈呈させていただきます。

1万円以上の場合には、協力証をお送りします。

創立・周年の記念などにいかがですか？

◆寄附の方法

次の3つからお好きな方法をお選びください。

- ・支援したい団体がある >>> 団体希望寄附
- ・興味のある活動分野がある >>> 分野希望寄附
- ・NPOを広く支援したい >>> 一般寄附

基金の詳細をはじめ、基金登録団体リストや分野リストなどは、埼玉県NPO情報ステーション (<http://www.saitamaken-npo.net/>) に掲載しています。

まずは、お気軽に 埼玉県NPO活動推進課 までお問い合わせ下さい

NPO基金のリーフレットと振込用紙をお送りします。



NPO活動推進課 NPO活動担当 TEL：048-830-2828

埼玉県NPO情報ステーション <http://www.saitamaken-npo.net/>

(埼玉県NPO基金のページ <http://www.saitamaken-npo.net/kikin/kikin.html>)

建産連 だより

○(社)埼玉県電業協会 埼玉県との防災協定に基づく「災害 復旧対策講習会」の開催について

平成20年9月9日(火)建産連研修センター2階第一会議室において、会員である代表者と各社防災担当者の出席の下、「災害普及対策講習会」を開催しました。

県消防防災課長様のご挨拶、同地震対策ご担当者の「今すぐできる震災対策」の講話に引き続き、今年度は、国土交通省河川局防災課長の細身 寛 様をお招きし「最近の防災の取組みについて」の講話をいただきました。その後、見直し、更生を行った「災害実働マニュアル」についてその内容の周知徹底を図りました。

協会では埼玉県と防災協定を締結、19課所と細目協定を結び、災害時の出動に備え実働マニュアルを作成、災害についての講習会等を毎年行い非常時に備えております。

出席者はみな、熱心に耳を傾け、いざというときに向け気持ちを新たにしました。

○埼玉県電気工事工業組合 高校生ものづくりコンテストを支援

当工組は、埼玉県教育委員会が県立工業高校7校の高校生15選手の参加のもと、6月21日に実施された「第18回埼玉県産業教育フェア高校生ものづくりコンテスト大会」(電気工事部門専門コース)において、会場・賞品等の提供や審査協力などの支援を行った。

当日、午前11時30分から当工組の会館2階で開会式が行われた。始めに、県立狭山工業高等学校校長でコンテストの責任者である渡辺勉校長から開会の挨拶があり、続いて理事長の代理として細田専務理事が挨拶、引き続いて司会者から、審査委員として青木指導教育委員長以下4名が紹介された後、競技上の

注意事項の説明が行われ競技が開始された。

競技内容は、合板パネル上に配線図で示された配線を指定された材料、工具を使用して制限時間内に施工するもので、生徒達は日頃からの学習と実習で培った実力を競い合った。

競技終了後、4人の審査員は、ケーブル工事、接続、結線、仕上がり綺麗さを公正な審査により厳しくチェックし、完成タイムを加味して上位3人を決定した。

最後に青木委員長が選考結果を講評し、渡辺校長の閉会の言葉で第18回大会を終了した。

コンテスト結果は

最優秀賞

春日部工業高校 3年生 内田 敦君

優秀賞

川口工業高校 3年生 山田 龍君

優良賞

大宮工業高校 3年生 上野 亮介君



○東日本建設業保証株埼玉支店 『アオサインサービス』 電子入札応援キャンペーンのご案内

当社関連会社の日本電子認証㈱では、これから電子入札の対応準備を行うという企業様向けに、『電子入札応援キャンペーン』を実施いたします。

是非この機会をご利用ください。

《キャンペーン概要》

●特典：通常より最大10,000円(税抜)割引いた価格にてご提供

●期間：20年10月1日～12月31日

●対象：はじめてアオサインサービスをお申込みいただく方

※ お申込みは、申込書類の他に、9月1日

よりホームページに掲載する「AOSignサー
ビス割引券～電子入札応援キャンペーン
～」が必要です。なお、申込書類は、日本
電子認証株のホームページからダウンロー
ドいただけます。

詳しくは、当店までお問合せください。
(048-861-8885)

「建築設備と新技術について」

1：00～5：00PM

大宮ソニックシティ市民ホール

③ 平成21年1月30日(金)

設立30周年記念式典

3：00～7：00PM (予定)

ラフレさいたま

○埼玉県地質調査業協会

最近の事業報告について

当協会は、役員会 総務厚生委員会 広報
委員会 技術委員会で、構成されており毎月
一回の委員会を、開催し活発に活動しており
ます。

7月上旬には、広報委員による埼玉県出先
事務所および、市町村へ要望書・業務案内配
布。

7月11日には、総務厚生委員会主催の、チ
ャリティーと親睦を兼ねたボーリング大会を
各会社の参加者52名にて、盛大に開催しまし
た。

7月9日には、技術委員会主催で、杉戸県
土整備事務所で事務所管内土木技術者を対象
に最適な地質調査方法等を含めた講習会を開
催いたしました。

7月17日に、会長、広報委員長、役員が県
土整備部・都市整備部・農林部・環境部・企
業局等へ〔①協会の優先活用と受注機会の
拡大 ②技術講習会・講演会の開催及び講師
派遣などに対する有効活用〕の要望書を提出
いたしました。

今後の予定としては、県との防災協定の締
結に努力して進めて参ります。

各役員の今後の活動及び活躍に期待する所
存です。

○埼玉県設備設計事務所協会

今後の行事予定について

当協会会員全体の事業お知らせします。

- ① 平成20年10月31日(金)～11月1日(土)
合同研修会 鬼怒川方面
- ② 平成20年11月25日(火)技術研修会



連合会日誌

- 6月27日（金）埼玉県議会「中小企業・農林業を支援する」議員連盟役員会（於：埼玉県議会議事堂）に関根会長、古郡副会長、佐野副会長、藤原副会長、有山副会長、高橋副会長、星野評議員、須永専務理事、田中常務理事出席
「基幹産業としての建設業の活性化について」、「ダンピング対策、不調不落対策について」の2点について要望するとともに意見交換
- 7月3日（木）自由民主党と全国建産連・全国建設業協会との懇談会（於：千代田区永田町・自由民主党本部）に関根会長、須永専務理事、田中常務理事出席
「公共事業予算について」を主にして要望するとともに意見交換
- 7月11日（金）埼玉新聞社新社屋完成式典（於：パレスホテル大宮）に関根会長出席
埼玉県建築確認円滑化対策連絡協議会幹事会（於：建産連研修センター）に田中常務理事出席
- 7月23日（水）**広報委員会**
建産連ニュース第117号の発行、第118号編集案について協議
建設業経営講習会
（社）埼玉県建設業協会並びに東日本建設業保証株埼玉支店との共催
「独占禁止法と公共工事」
丸市綜合法律事務所 二宮 照興 氏
（於：さくらめいと熊谷文化創造館）
- 7月24日（木）**総務委員会**
国及び県に対する要望事項、全国建産連会長表彰候補者について協議
- 7月30日（水）**正副会長会議**
埼玉県議会「中小企業・農林業を支援する」議員連盟との意見交換結果、国及び県に対する要望、全国建産連会長表彰推薦者、事務局人事異動について協議
- 8月19日（火）環境負荷低減計画及び埼玉県エコアップ認証制度説明会（於：春日部地方庁舎）に田中常務理事出席
- 8月27日（水）全国建産連総務委員会（於：虎ノ門MTビル）に関根会長、田中常務理事出席
- 9月3日（水）埼玉県議会公明党議員団との意見交換会（於：埼玉県議会議事堂）に関根会長、有山副会長、高橋副会長、須永専務理事、田中常務理事、宮川参事出席
「ダンピング対策について」、「分離分割発注の推進及び単品スライド条項適用の拡大について」の2点について要望するとともに意見交換
- 9月12日（金）自民党埼玉県連幹部との意見交換（於：建産連会館）に関根会長、藤原副会長、須永専務理事、田中常務理事出席。
不動産・マンション不況に苦しむ建築業界、談合疑惑に揺れる土木業界の厳しい現実を訴え、政治面での強力な後押しに理解を求めるとともに意見交換

社団法人 埼玉県建設産業団体連合会会員名簿 (順不同)

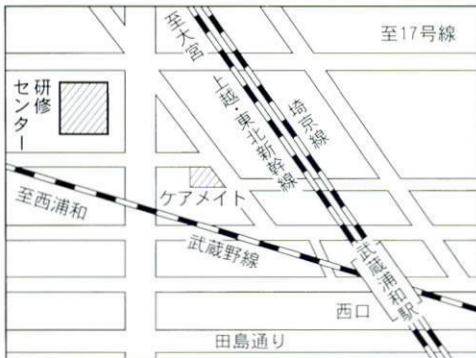
〒336-8515 さいたま市南区鹿手袋4-1-7 電話 048-866-4301
 社団法人 埼玉県建設産業団体連合会 FAX 048-866-9111
 会長 関根 宏

(平成20年7月1日現在)

構成団体名	代表者	所在地	〒	電話番号
(社)埼玉県建設業協会	会長 古郡 一成	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	336-0031	048(861)5111
(社)埼玉県電業協会	会長 佐野 良雄	〃	〃	048(864)0385
(社)埼玉県造園業協会	会長 藤原 恒男	〃	〃	048(864)6921
東日本建設業保証(株)埼玉支店	支店長 松崎 友洋	さいたま市浦和区高砂4-3-15 K・Sビル5階	330-0063	048(861)8885
埼玉県電気工事工業組合	理事長 小澤 浩二	さいたま市北区宮原町1-39	331-0812	048(663)0242
(社)埼玉県空調衛生設備協会	会長 有山 賢市	さいたま市中央区下落合4-8-10	338-0002	048(855)4111
(社)日本塗装工業会埼玉県支部	支部長 渡辺 秀雄	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	336-0031	048(866)4381
埼玉県建設大工工事業協会	会長 目黒 有	〃	〃	048(862)9258
(社)埼玉建築士会	会長 高橋 庫治	〃	〃	048(861)8221
(社)埼玉県建築士事務所協会	会長 宮原 克平	〃	〃	048(864)9313
(社)埼玉建築設計監理協会	会長 桑子 喬	〃	〃	048(861)2304
(社)埼玉県測量設計業協会	会長 小山 進	〃	〃	048(866)1773
建設業労働災害防止協会埼玉県支部	支部長 真下 恵司	〃	〃	048(862)2542
埼玉県道路舗装協会	会長 真下 恵司	〃	〃	048(861)9971
埼玉県コンクリート製品協同組合	理事長 日下 鏑二	上尾市本町1-5-20	362-0014	048(773)8171
埼玉県下水道施設維持管理協会	会長 矢澤 研二	さいたま市中央区上落合9-9-4 -202	338-0001	048(854)3377
埼玉県環境安全施設協会	会長 宮田 勉	さいたま市西区内野本郷1082-1	331-0045	048(795)9516
(財)埼玉県建築住宅安全協会	理事長 高岡 敏夫	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	336-0031	048(865)0391
埼玉県総合建設業協同組合	理事長 白澤 芳正	〃	〃	048(864)2811
埼玉県建設業健康保険組合	理事長 清水 澄弘	〃	〃	048(864)9731
埼玉県建設業厚生年金基金	理事長 古郡 一成	〃	〃	048(866)4331
(社)情報通信設備協会埼玉県支部	支部長 濱田三千男	さいたま市大宮区浅間町1-4-4	330-0842	048(642)5771
埼玉県地質調査業協会	会長 岡崎 幸夫	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	336-0031	048(862)8221
埼玉県生コンクリート工業組合	理事長 遠藤 輝男	さいたま市南区南浦和3-17-5	336-0017	048(882)7993
埼玉県設備設計事務所協会	会長 服部 幸二	さいたま市浦和区高砂3-10-4	330-0063	048(864)1429
埼玉アスファルト合材協会	理事長 島村 健	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	336-0031	048(838)5636
(社)日本補償コンサルタント協会関東支部埼玉県部会	会長 中嶋 隆	〃	〃	048(844)0111

賛助会員

さいたま市建設業協会	会長 斎藤 恵介	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	336-0031	048(863)3203
埼玉県電業協同組合	理事長 荻野 勝治	〃	〃	048(836)3003



埼玉建産連研修センター をご利用下さい

- 【所在地】さいたま市南区鹿手袋4-1-7
 【電話】048-861-4311
 【施設】大ホール(椅子席500名収容)、会議室、和室、レストラン、喫茶ルーム
 【開館時間】午前9時～午後5時

建産連ニュース 第118号

平成20年10月15日発行

発行	社団法人	埼玉県建設産業団体連合会
企画・編集	広報委員会	
	〒336-8515	さいたま市南区鹿手袋4丁目1番7号
		電話 048-866-4301
		FAX 048-866-9111
印刷	〒330-0061	さいたま市浦和区常盤2-7-7
		株式会社 信陽堂

『建産連ニュース』データ版ご利用の際のご注意

建産連ニュースのデータ版については、以下の事項をご了解の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。また、当ファイルを閲覧・ダウンロードされる際には、この条項にご了解いただいたものとみなします。

(1) 著作権について

『建産連ニュース』の著作権は、社団法人埼玉県建設産業団体連合会に帰属します。無断での転用・転載を禁じます。

(2) 免責事項

『建産連ニュース』内掲載の記事・広告は、発行当時のものであり、現在の状況とは差違が生じている部分がございますので、ご注意ください。

なお、記載内容に関連し、ご利用者の故意・錯誤により生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いかねます。

(3) 配布について

この『建産連ニュース』データ版は、無料で配布しておりますが、著作権者の許可無くしての二次利用・再配布を禁止いたします。

なお、本ページは著作者情報となります。このページを削除することを禁じます。

(4) お問い合わせ

その他、記事内容・ご利用方法について、疑問・質問等がございましたら、下記の当連合会事務局までお問い合わせください。

○お問い合わせ

社団法人埼玉県建設産業団体連合会
事務局

電話 048-866-4301

E-mail somu@sfcc.or.jp

URL <http://www.sfcc.or.jp/>

平成23年2月